



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Tomoko Kuwano 4-16-23-401, Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe
 Mail : kuwano-t@nifty.com Phone : 078-431-8418 658-0016, JAPAN
 URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/>

主 題

- 国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Finn A Pederseon "To dare is to do"
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"
 西日本区理事 「Y'sの原点 愛と奉仕で社会に貢献」
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community
 through Active Service with Love"
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」
 森 紘一
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」
 都筑 省三

- 会 長 都筑省三
 直前会長 桑野友子
 副 会 長 堤 清 島田 恒
 書 記 堀江哲次 柏原佳子
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 上野恭男 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

7

June 2011
 第 170 号

今月の聖句

あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。
 マタイ福音書 5:13

「あなたがたは地の塩である」



都筑省三

次期会長を原則として入会年次で決めることになり、私が会長を引き受けることになりました。

突然サポーターがグラウンドで競技するように言われたような気持ちです。1年間走り抜くことが出来るのか心配していますが、皆さんから応援するからやるようにとあたたかい激励の言葉を掛けて頂いていますので、大船に乗った気持ちで走ろうと思っています。

桑野友子会長始め歴代の会長が先頭に立って素晴らしい活動をしてこられた姿を拝見していますので、私にはとても出来ないという思いと共に、断ることも出来ないと思いました。次の人にたすきを無事渡すことが出来るようにと願いながらお引き受けいたしました。今年の芦屋クラブの主題は「あなたがたは地の塩である」- 真面目にそして楽しいクラブ活動 といたしました。

イエスさまは塩に塩気がなくなれば何に役にも立たないと言われていました。私たちの活動も地の塩として社会から評価されることが大切だと考えています。

そのために真面目に活動すると共に、私たちの人生を豊かにする楽しいクラブ活動であることが大切だと考えています。

どうぞよろしくお願い致します。

7月第1例会プログラム

と き : 2011年7月20日(水) 19:00~21:00

と ころ : ホテル竹園 3階

司 会 : 堤 清 (敬称略)

受 付 : 羽太英樹・藤田良祐連絡主事

1. 開会点鐘 都筑省三会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 会長・役員引き継ぎ式 上野恭男(司式)
4. 聖句朗読 羽太英樹
5. ゲスト・ビジター紹介 堤 清
6. 食前感謝 上野恭男
7. 会食・歓談 一同
8. 新会長挨拶 都筑省三会長
9. 会計報告 羽太英樹
10. 活動方針・活動計画 各事業委員
11. 議事・報告
- 第2例会議事録承認 都筑省三会長
- 各事業委員報告
- 8月第1例会、8月・4クラブ合同納涼例会
12. YMCA ニュース 藤田良祐連絡主事
13. 誕生祝い 都筑省三会長
- 羽太英樹
14. ニコニコ献金報告 福原吉孝(ファンド)
15. 閉会点鐘 都筑省三会長

6月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー	14名	出席者 14名	184gm(2,754gm)
ビジター	0名	メイキャップ 1名	
ゲスト	0名	合 計 15名	
メネット	1名	在籍者 18名	
合 計	15名	(内広義会員1名)	ニコニコ (累計)
		出席率 88.2%	6,920円(152,206円)

6月第1例会報告

日時: 6月15日(水)19時~21時

場所: ホテル竹園芦屋

司会: 島田 恒

以下敬称略

出席者: 飯田、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、堤、羽太、福原、藤田、堀江、渡辺(14名)、大澤昌子メット(1メット)

年度の変わり目に当たる6月例会は、恒例に従ってメンバー全員によるこの一年の振り返りと、来るべき年度への思いを語る会となった。それぞれの発言は別記されているところであるが、桑野会長のリーダーシップの下、メンバーが決められた役割を果たされたうえ、謙虚に反省を加えておられたことが印象的であった。これだけの小さなグループで各人が大きな貢献をされており、それが芦屋ワイズの活力になっていると、筆者にはこの例会発言を通して実感させられるところであった。

多数が参加された西日本区大会、IBCエチューカクラブへの訪問、チャリティラン協賛、留学生交流会などが特記さからもメンバーへ感謝が述べられた。残念だったこととしては、多くの方が吉岡メンの退会を挙げられ、また恒例のさくら祭の中止も(収益の機会を失った残念さと共に)話題にのぼった。

今年度への思いとしては、新しい努力目標が語られ、最後に都筑新会長の方針が示されて会が閉じられた。筆者は過年度、EMC担当としても実績をあげることができなかったが、例会には出席できたことをよるこびとした。そして、新旧会長やメンバーの発言に接し、刺激をいただいて気持ちを新たにすることができた例会であった。

この一年を振り返って

EMCの1年間を振り返り、この1年間の会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。昨年9月EMCについて熱心な思いを語って頂いた結果、ゲストの招聘が積極的に行われ、特に「クリスマス祝会」では多数のゲストが参加、5月は「プラスワン例会」を実施。この1年、中野雅弘メンの新規加入は全員が喜んだことと思いますが、一方、吉岡メンの退会は誠に残念でした。

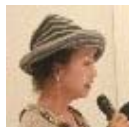
井上雅司

西日本区書記を終え、ホッとしていましたが六甲部部会がフルーツフラワーパークであり、ワイズの楽しさをゲストとして味わうことができました。1年間西日本区書記として懸命に頑張りましたので心休まるものでした。芦屋クラブでは会長人事が悩みの種でしたが、それも入会順ということが決まり大きな変革の一つでした。

ジャガイモファンドが不作でイマイチでしたし、東日本大震災のためにさくら祭りが中止になり残念でした。

上原伊織さんの染色作品のみどり福祉作業所への寄付に当たって地域奉仕事業が盛り上がりました。IBCのエチューカクラブを訪問しゴルフをしました。社会に対しボランティアをこれからもクラブを通して続けていきたいものです。

上野恭男



この1年は、横浜大会に始まりIBCクラブエチューカ訪問に終わりました。そして、西日本区大会(広島)に終わり、西日本区大会(京都)から今期リフレッシュして、スタートしたいと思っております。柏原佳子

この一年は会計と書記のお役をいただきました。会計では数字は活動の姿をはっきり示すものと改めて感じました。さくら祭りが中止となってファンド資金が稼げずしんどい決算となりそうです。またプリテンの「今月の聖句」を担当させていただき、毎回選ぶのに苦労しましたが楽しくもありました。



羽太英樹

この1年をふりかってみると、ジャガイモの不作によるファンド事業の縮小にはじまり、最大のファンド事業である桜祭りが中止となり、飯田メンとともにファンド事業に係る者として、どうすることも出来な



い要因とはいえ、不本意な一年となった。桜祭りのチヂミ焼きは、貢献度も高く、芦屋Y'sのほとんどのメンバーが役割を分担し材料の下準備、器具の手配、当日の焼き具合、桜祭りのお客様と販売のやり取り等、大変楽しい事業であった

だけに残念に思う。ただ東日本の大震災があり、市主催の桜祭り中止もやむを得ない状況は理解しなければならない。ただ、当日の朝、芦屋川を散策したが、芦屋市役所の方々が、知らずに来られた方に丁寧に対応されていた。人通りは寂しかったが、芦屋川の桜は、満開に近く美しい桜吹雪を演出していたのがとても印象深く感じた次第である。

また大震災で大きな被害を受けた盛岡クラブへ応援により友情を深めた事は、大変良かったと思う。さらにジャガイモファンドであるが、毎年、多くの十勝からの美味しいジャガイモが不作で縮小され、飯田、堤メンと忙しく各家庭に配ることなく終わってしまったのも、なんとなく寂しい気分させた。次年度こそは、頑張るファンド事業を成功させたいと強く思った。最後に会計の責任者である羽太メンの今年度は大変だったと思う。収入も少ないにも関わらず見事に運用されたことに本当に心から感謝申し上げたい。

福原吉孝

この1年は書記とプリテン編集長のお役でした。プリテンは最初わからないことばかりで非常に大変でした。3ヶ月ほど経験したあたりからすこずつ楽になりました。このお役で1ヶ月はすぐ経つのだということが実感できました。堀江哲次



「EMCについて熱く語ろう」の例会以来一年もたないうちに、このことわざについて考えさせられるはめになった。「来たる者は拒まず、去るものは追わず」しかしこのことわざの意味には、過ぎ去った



事をくよくよ考えるよりも、今ここに与えられたものを大切にしようという肯定的な意味もあるようだ。志を一つにした者同士が、目的を達成するためにはやはり数の力が必須であると思う。この度の宮古ボランティアセンターへの冷蔵庫寄贈がよい

例だと思ふ。私一人では16万9千円の支援は出来ないけれど、20人集まれば出来てしまった。頭の中をシンプルにしてワイズ生活を送ろうと思う。

渡辺倫子

第14回西日本区大会に参加して

「お～きに！ 陽気に！ 京都から・・・」と題して京都キャピタルワイズメンズクラブがホスト役になって第14回西日本区大会が6月11日～12日、格式のある旧都ホテルにて開催された。芦屋クラブからは桑野会長、都筑次期会長ならび飯田メン、田舎メン、上野メン、柏原ウイメン、福原メン、渡辺ウイメンと小生の9名が日帰りで参加した。梅雨空の中、そろって快速電車で京都へ。先発された桑野会長以外は午後の式典から参加、懇親会、フェロシップアワーの熊本みなみクラブとの久しぶりの顔合わせを終えて、最終電車で芦屋、東灘へと帰宅。

式典はわずか20分の中休みだけで4時間余りにわたる会議となり、ちょっと疲れた。プログラムの中に一息つけるような「スピーチ」とか、「音楽演奏」を挟んでみるのも手ではないかと・・・みなさん同感でした。でも、パーナーセレモニーは圧巻であった。西日本各地のクラブのパーナーが並び、会員がじり貧だった近年、それが止まる傾向もみられるとの報告もあり、がんばらないと、と思わされた次第。

会場準備のため、式典が終わって1時間後の19時から懇親会が始まった。はるか韓国釜山や光州、ハワイのクラブから



も参加があり、会場にはいっぱい笑顔が満ち溢れた。さすが名門ホテル！料理も美味しく、900人ほどの客を待たせることなくサービスはOK！

芦屋クラブの席では熊本みなみのちょっとユニークな村上夫妻も同席となり、楽しいひと時となった。アトラクションの和太鼓と唄「BURAI」の熱演は時間の経つのを忘れさせた。

羽太英樹

六甲部Yサ・ユース事業主査として

2011-12年度第1回YMCAサービス・ユース事業主査研修会が6月26日(日)新大阪で開催されました。

他の事業研修会も同時開催で、浅岡理事やそのスタッフも参加されましたが、一同に会することなく其々の部屋ですぐに研修に入りました。Yサ・ユース事業は藤川洋現、亀浦直前、下村次期の3主任及び中部から九州部9部の主査が全員参加、Yサ・ユース事業がワイズに取って大切な事業であり、今期の主題「YMCAとともにユースにつなげる ワイズの心！」とあり、YMCA活動とくにユースへの積極支援を活動方針・計画として熱く語られました。

Yサ・ユース資金献金への理解促進を各クラブに働きかけ、目標¥1,500/一人を是非とも達成して欲しい、Yサ・ユース献金は自由献金だがやはり100%達成することで、十分な活動が出来る」と説明されました

ちなみにYサ・ユース資金は(1)100万円をYMCA同盟へ(これはリーダー達の活動費用に使われます)、(2)YYフォーラム支援に5万×9部(今期六甲部は神戸YMCA125周年記念行事と重なるため、残念乍中止)、残りを(3)各クラブから申請のあるYMCAサービス事業と(4)国際大会・アジア大会のユースコンボケーション参加費用の補助に充てられます。

藤川主任は(4)のユースコンボケーション参加を積極的に支援したい、次回はノルウェーだから費用も高くなるが、多くの若者(ワイズコメットやリーダー)を参加させたい、その為にも是非、100%献金を目標に各クラブの理解を進めと欲しいとの事でした。

協力を得るためには六甲部でタイワークキャンプに参加した若者たちが帰国報告をするように、彼らが得たものを積極的に発表する必要がある旨を提案、部会や様々な機会をとらえて実行に移したいと思います。

今期六甲部のYサ・ユース主査として皆様にYサ・ユース事業の大切さをより理解して頂き、Yサ資金への積極的献金をお願いするべく各クラブを訪問したいと考えています。

どうぞ宜しくお願い致します。

桑野友子

芦屋クラブ様寄贈、大型冷蔵庫が盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンターに到着

ボランティア活動も6月に入り、急に気温が上がり始めました。問題発生です、食料の保存が効かない。今まではそのへんに置いてけば天然の冷蔵庫で長持ちしていましたが、この気温ではそうは行かない。ボランティア活動に直接関係ない物品が欲しい。ここはワイズメンズクラブの登場以外にはないでしょう。



もりおかクラブに購入依頼がきました。軽い調子で、「OK」と返事をしたものの、16万9千円、おっと簡売に出費できる金額ではないな。そうだ、芦屋クラブ様をお願いしてみよう。なんと図々しい発想な事か。それでも、芦屋クラブ会長様にメールを送信しお願いしました。

早速、嬉しい返事をいただきました。

(DBC もりおかクラブブリテン6月号よりの抜粋記事)

6月第2例会・議事録 (抄)

日時: 6月22日(水) 19:00~21:00

場所: 芦屋市民センター206号室

出席者: 上野、柏原、加輪上、桑野、都筑、羽太、福原、堀江、吉岡、藤田 (10名)

司会: 都筑新会長

< 報告・協議・確認事項 >

1) 12月までの第1例会予定

7月20日(水) 会長交代式

8月17日(水)

9月21日(水)

10月19日(水)

11月16日(水)

12月23日(金・祝) クリスマス例会

9月以降のゲストスピーカーや会員スピーカーについて各自検討して7月第2例会で諮る。

2) クラブ例会以外の予定

7月23日(土) 東日本大震災支援コンサート

8月19日(金) 近隣4クラブ合同納涼例会 (自由参加)

9月24日(土) 六甲部・クラブ対抗ローンボール大会

10月 8日(土) 六甲部会

3) 5月度会計報告

羽太会計より報告あり、承認。

4) 2011/12年度会計予算

羽太会計より原案提示あり、一部修正

東日本大震災・支援関連の支出を ¥50,000 計上了承。

決算確定後、7月例会で最終承認とする。

5) その他 (第2例会で吉岡メンと記念の写真をパチリ)

夏期期間(6月~9月)の第1例会の服装はクールビズ。



吉岡浩一メンより退会挨拶。

藤田連絡主事よりYMCA 報告があった。

羽太英樹

編集後記:

6月第1例会出席のメンバーによる「1年を振り返って」の記事を掲載しています。巻頭言にありますように 真面目にそして楽しいクラブ活動 が実現でき、そこから豊かなものが得られることを願っています。

堀江哲次

YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

定期総会、開催

2011年度の定期総会が去る5月31日(火)に開催され、約110名が出席。頌栄短期大学の塚本潤一先生の開会礼拝奨励に始まり、会則改定の議案を含む定期総会が開催された。提案通り会則改定が承認決議された後、通常の報告を水野総主事から、学校法人を吉田常務理事から、社会福祉法人を小澤常務理事から報告、東日本大震災について永井道子さんから報告された。

(社福)神戸いのちの電話、30周年記念式及び記念講演会、開催

神戸いのちの電話は今井鎮雄顧問が総主事時代に神戸YMCAの会館を活用して開始。2000年に社会福祉法人化され、現在の理事長は山口 徹さん(前総主事)で、事務局長は鈴木博和さん(公益財団理事)。6月4日(土)に開設30周年の記念式及び記念講演会がハーモニーホールで開催、多くの参加者がありました。

第135回全国YMCA総主事会議報告

6月19日(日)~20日(月)に東山荘で全国YMCA総主事会議開催。東日本大震災への支援活動について、また公益法人申請についてなど列記します。

・全国のチャリティーランについて、従来の三菱商事に加えて、富士通がナショナルスポンサー、各YMCAへの拠出額もこれまでの1.5倍となりました。

・公益財団法人への移行は、既に東京YMCA・大阪YMCA・神戸YMCAが認定、現在、横浜YMCA・京都YMCA・熊本YMCAが申請中です。

・東日本大震災の支援に関しては北カリフォルニア日本文化コミュニティセンター(JCCCNC)からの支援金が仙台、盛岡、とちぎ、同盟そして神戸に、総額で1億円を越えています。JCCCNCからの呼びかけでトラウマケアの研修が計画。

神戸YMCA今後の予定

1) 第4回公益財団法人理事会

日時: 8月30日(火)午後6:30~8:30

場所: 神戸YMCA 4F 神戸サイコー亭

ユースプラザKOBЕ・EASTプログラムのご案内

1) ユーブラ・ミニコンサート

日時: 7月31日(日)15:00~15:30(予定)

出演: KONAN BRASS ENSRMBLE(甲南高等学校)

2) ユーブラ・フェスティバル(入場無料)

日時: 8月27日(土)11:00~16:00(予定)

内容: 親子を対象とした簡単なゲームや工作コーナー。

県立御影高校吹奏楽部の生演奏も行う予定